

- ◇2023年11号では、本年度の特集「令和の分析化学教育」が掲載されています。大学だけでなく、企業や高校など様々な立場から教育に対する熱意と同時に難しさが伝わり、深く感心しています。それだけに留まらず、実践していきたい今後のヒントを頂けたと思います。奇しくも「とびら」、「リレーエッセイ」でも、同じ教育についての話題が挙がっており、どの立場でも教育における関心の高さ・重要性が伺えます。
- ◇2023年のノーベル化学賞は「量子ドットの発見と合成」に貢献した三氏が受賞されました。この量子ドット技術は、ディスプレイ、太陽電池、蛍光イメージングなどに使用されており、すでにディスプレイにおいては、2013年から市販化されています。その特徴は、高画質、広視野角などのメリットがありますが、安全性に問題ないレベルのカドミウムを使用されるという欠点が指摘されています。この受賞により技術革新がさらに進み、より安全性の高い製品の開発が進むと考えられます。
- ◇本学会の会長である大谷肇先生が8月に突然ご逝去されました。大谷先生には某学会で一緒にさせて頂いて以来、研究やお酒でもたくさんのご指導やアドバイスを頂きました。感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。  
(H.S.)

- 〈とびら〉  
「ぶんせき」誌の付加価値向上を目指して……………四宮 一総
- 〈入門講座〉 分離技術：原理から最新技術まで  
マイクロ流路デバイス……………火原 彰秀
- 〈解 説〉  
HPLC/ICP-MS法による化学形態別分析と  
多元素同時分析への利用……………岡林 識起
- 〈ミニファイル〉 マイクロ・ナノの分析化学  
実用化・展望……………渡慶次 学
- 〈話 題〉  
ベルおよびポリフルオロアルキル化合物の  
包括管理に向けて……………三宅 祐一

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四宮 一 総 (日 大 薬)		
〈副委員長〉 東海林 敦 (東京薬科大薬)		
〈理 事〉 津越 敬 寿 (産業技術総合研究所)		
〈幹 事〉 市場 有 子 (ライオン(株))	稲川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)	坂 牧 寛 (化学物質評価研究機構)
	村居 景 太 (株共立理化学研究所)	
〈委 員〉 岩井 貴 弘 (株日立製作所)	糟野 潤 (龍谷大先端理工)	久保田 哲央 (アジレント・テクノロジーズ)
	坂 真 智子 (株エスコ)	島田 健 吾 (石福金属興業(株))
	古賀 舞 都 (農研機構)	高橋 あかね (オルガノ(株))
	末吉 健 志 (大阪公立大院工)	野間 誠 司 (佐賀大農)
	永谷 広 久 (金沢大院自然科学)	野間 誠 司 (佐賀大農)
	原賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)	福 島 健 (東 邦 大 薬)
	三浦 篤 志 (北 大 院 理)	宮 下 振 一 (産業技術総合研究所)
	盛田 伸 一 (東 北 大 院 理)	森 山 孝 男 (株リガク)
		山 崎 由 貴 (国立医薬品食品衛生研)

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階  
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2023年第11号(通巻587)

2023年11月1日印刷

2023年11月5日発行

定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電 話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2023, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。